

名古屋市長東区の木をその名前に冠した「けやき内科」は、平成21年12月に開院した。呼吸器疾患、アレルギー疾患、生活習慣病等を中心に、総合的な内科診療を行っている。

加藤景介院長は呼吸器学会認定専門医であり、内科学会認定の総合内科専門医でもある。長く総合病院で外来診療に携わってきた中で「もっと患者としっかり向き合いたい」との思いが強くなったのが開院のきっかけだと加藤院長は話す。

大きな病院では、どうしても個々の患者にかける時間は少ない。だが、先進医療を受けられるというメリットも患者にはある。

診療レベルを落とすまいと強い気持ちで開院を決意した加藤院長は設備にも惜しまず投資。「マルチスライスCT」も導入した。これは従来のCT機に比べ、

加藤院長と、院長を支えるスタッフの面々

けやき内科 名東区



平成5年名古屋大学医学部卒業。公立陶生病院、名

略歴

名古屋大学医学部附属病院等の勤務を経て、平成21年けやき内科開院。

その後受付に戻り診療が終了となる。ロビーからスタートした患者の動線をたどると、ぐるっと円を描くように院内を移

や気になる点を看護師に伝動する感じだ。通常、看護師は医師の診察室へ。医師の診察の際も同じ看護師がサポート、診察後は指導室で日常生活の注意等を受けたり、病気の不安等を相談したりする。

医師も患者さんも納得

最新型機器や
担当看護師制
質の高い医療提供

画像の検出速度が速く、呼吸器疾患の診療にた得られた画像処理の方法も多彩、被ばく量も格段に少ないという最新型機器。検査器や「気道過敏性検査器」等、総合病院並みの多彩な機器が導入されている。他にも、

開院してまだ半年足らず、地域医療に熱い思いをたぎらせる加藤院長。「医師も患者さんも納得できる質の高い医療を提供したい」と語る、物静かながらも強い口調が頼もしい。

担当看護師制という独特の診療スタイルも同クリニックの大きな特徴だ。患者はまず予診室で病状

けやき内科外観



町の お医者さん

担当看護師制という独特の診療スタイルも同クリニックの大きな特徴だ。患者はまず予診室で病状

●けやき内科 名古屋市長東区猪子石原一丁目200
02 052 (774) 2002